



みなと

みなと 35号 2011年12月1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(Tel)078-241-9889 (fax)078-241-6990

代表者 政 芙美子

編集者 松本 裕子



11月23日(祝日)お天気がおもわしくない予報に案じつつ、祈る思いが通じてまずまずのお天気、無事リスナーの皆様をお迎えすることが出来ました。

お越し下さるリスナーの積極的なお姿に接し、私達団員も勇気づけられる思いがします。

12時きっかり交流会がスタート、司会はあかりの会の赤木直美さん、政委員長ご挨拶、リスナー中原真理子さんが「毎年交流会を楽しみにしています。お招きありがとうございます」と元氣にご挨拶して頂き、来賓、角谷奉仕課課長のご挨拶も頂きました。

今回リスナーは48名、同行者37名、盲導犬2頭、団員72名の計157名が参加、にぎやかにお昼のお弁当を囲みました。

午後からのイベントは奉仕課、角谷課長の「東日本大震災での支部の活動報告」、現地に赴いて実際肌で感じられた生身のお話に心打たれる思いがしました。

続いて「みわの会」のお琴演奏でしばし幽玄の世界に浸り、琴の伴奏で「上を向いて歩こう」を合唱しイベントは終了、リスナー歓談とプレクストークの説明会へと移りました。

プレクストークの説明会は6階ボランティア室で行い、当初の予定を上回るたくさんの方たちにご参加くださって会場は大盛況、リスナーの関心の高さがうかがえたものの、反面、交流会の会場がその分淋しくなり雰囲気散漫になったことは少し残念だったかと思えます。

そうこうするうちに終わりの時間が近づき、恒例の「今日の日をさようなら」の全員合唱で無事今年度の交流会は終わりました。交流会実行委員長鈴木さんをはじめ団員の皆様ご苦勞様でした。 松本裕子

交流会を終えて

雨の心配をしながら迎えた当日は、皆様の日ごろの行いの良さを証明する様に晴れ（曇り？）各グループの役割を実行委員の方を中心に確実に遂行して頂いた結果、準備から当日の進行まで、スムーズに運べたことに感謝しています。

テーブルの配置を工夫下さったお陰で、ゆったり歓談できたと好評でした。

支部の東日本大震災での活躍の話には、会場が静まりかえり熱心に聞き入って下さる姿が見えて、日赤の救援活動への理解が、さらに深まったのではと感じました。

「みわの会」の3台の琴での演奏に、早々に正月がきた気分を味わいました。時間が足りなくて、合唱が「上を向いて歩こう」だけになって残念でしたが、皆様が琴に興味を持たれて、大勢の方が実際に爪弾いてみられて楽しんで下さいました。

初めての試みとして、歓談の時間にプレクストークの説明会が開催されたのですが、交流会会場に空席が目立ち、寂しい気がしました。

今回の運営の経験を活かし、さらに有意義な交流会へと発展していくように祈念しています。ありがとうございました。

そよかぜグループ 鈴木 光代



2011年交流会会計報告

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------|---------|---------------|---------|
| 日赤交流会助成金 | 250,000 | 弁当 | 148,000 |
| 会費 @500×162名 | 81,000 | お茶(24本×9ケース) | 20,412 |
| リスナー 49名 | | お菓子・みかん | 54,421 |
| 同行者 35名 | | チャーターバス 2台 | |
| 団員 78名 | | @10,000×4(往復) | 40,000 |
| | | 琴演奏者交通費・琴搬送料 | 25,000 |
| | | その他 | 1,252 |
| | | 振込手数料 | 140 |
| 計 | 331,000 | | 289,225 |

| | |
|----|--------|
| 残高 | 41,775 |
|----|--------|

デイジー班だより

デイジー班の活動は、スタートして来年で5年目を迎えます。

リスナーさんのご利用は、2008年6月の27名から2011年10月末現在で175名の登録となりました。

月刊「日赤声のアルバム」159部と単行図書CD85作品を聴いていただいています。

「みなと」6月号で、今年度のデイジー班の目標として①朗読をする全団員がデジタル録音出来るよう学習を積み重ね、②月刊・季刊全8図書&単行図書のマザーをテープからCDへ切り替える準備を整えることの二つをあげました。

① については

現在各グループで全団員に対する実地研修を進めて、着々と浸透しつつあります。朗読をする全員がデジタル録音できるようになる日もそう遠くなくさそうです。

② については

「子どもたちへのメッセージ集 2011」を依頼者の神戸市からの要望も有り、デジタル版でマザーCDを作成します。これには例年通り皆様にご協力を頂いています。そして編集も担当するデイジー班としては、初めての完全デジタルCD作成で、張り切っています。

又、かねてお知らせしている通り、PHP平成24年2月号も完全デジタル版作成を予定しています。

これで弾みがつけば、他の各図書へも徐々に広がってゆくのではと明るい見通しを持っています。

単行図書では、既に新たに吹き込む図書については全てPC録音して頂いています。そして要望のある分についてのみテープ版を作成しています。

以上、日赤声の図書の大変革期到来と捉えて、様々な新たな課題に対し考え、挑戦しつつ前向きに少しずつ進めています。

団員の皆様には、これまで以上のご協力を仰がねばならなくなりますが、どうぞよろしくお願ひします。



'11.11.18. 直田花子

点字班より

点字との出会い



私が点字を始めたのは、偶然なのか、チャンスであったのか不思議な出会いからです。物心ついた頃より本が大好きで、外で遊ぶことより本を広げているのが何より楽しいひとりで、長じても本が手放せない毎日でした。

それが高じて退職後は、本に関するボランティアが出来ればと漠然と考えていました。そんな折に、偶然散歩の途中でYWCAの朗読教室の募集を見て、全くの初心者でしたが入会させていただき、そのうち一カ月もしない間に、新聞記事で、ある会社の社長が70歳で退職された後点字を習い、80歳でお亡くなりになるまで、点訳書を何冊か完成されたとの記事を読み、それなら私にもできるかもと（浅はかにも・・・）教室を探そうとしたところ、またまた新聞で各種ボランティア募集の欄に、点字教室がありました。

而も、教室は我が家から近い東部在宅障害者福祉センターとの事！これはと思い説明会に（全く予備知識なくノコノコと）参加しました。

全盲の先生で、最初のごあいさつが「私が今日或るのは、ボランティアの皆さんのお陰です。それに対して私は、何も恩返しが出来ないので、せめて点字を知ってもらい、そしてまた、障害者を理解してもらいたいのので、教室を開きたいのです」とのお話を聞き、全盲と言う大きな障害を持ちながら、明るくユーモアがあり感謝の気持ちを忘れず前向きに行動されることに、目を覚まされ“やってみよう”と決心した次第です。

点字を全く何も解らないままに始めましたが、点字は奥深く壁に当たるばかりで一向に進歩せず前途多難です。

又、よる年なみで(?)視力も弱くなり、集中力も衰え、いつまで出来るか問題ですが、焦らず相も変わらずのいい加減さで続けられたらと、目下の希望です。

本当に不思議なご縁で始めたボランティアですが、先生方に恵まれこれも私の誠にささやかな第二の仕事かと楽しみながらの毎日です。

神戸YWCA 安藤 陽子

単行図書検討会



今年の4月から11月まで、リスナーさんからのリクエスト本2冊、単行図書検討会の推薦本6冊の録音者を募集しまして、お陰様で、すべて録音済み又は録音中という状況です。皆様のご理解、ご尽力に感謝申し上げます。

ただ、最近、単行録音図書をモニターして感じますのは、音量が小さすぎたり、大きくなったり小さくなったり安定しない作品が多いということです。テープ録音の場合、トップが0dbを少し超えるくらい、直接録音では、トップが-10dbを超えるくらいで録音してください。リスナーさんが、途中で音量の調節をしないで済むように宜しくお願いいたします。

リスナーさんから単行テープやCDの貸し出し希望のお電話がありましたら、電話の横の「単行図書貸し出し希望受け」の用紙に記入後、「ことばの花束」のメールボックスにお入れください。録音希望の場合は、「こすもす」のメールボックスにお入れください。

単行図書検討会が発足して3年経ちましたが、その間一番大きな変化は、単行録音図書がテープ図書からCD図書主体へと移ったことでしょうか。以前は、まずテープ図書を作り、それをデジター編集して、CD図書を作っておりましたが、今は、まずCD図書を作り、新刊案内して、リスナーさんからリクエストがあれば、テープ図書へ変換して提供しています。また、録音も直接録音をされる方が増えています。その変化を受け、録音マニュアルをテープ図書制作マニュアルからデジター図書制作マニュアルに替えたいと思っています。現在、デジター班さんをお願いして、デジター図書制作マニュアルを作成していただいております。来年初めにはお渡しできると思います。

現在、テープ図書からCD図書への変換という難しい時期ですが、できるだけリスナーさんのお気持ちに沿い、良質の単行録音図書をお届けしたいと願っております。単行録音図書や単行図書検討会についてのご意見、ご要望がございましたら、どしどしお寄せくださいませ。お待ちしております。

単行図書検討会 池内早苗



日赤声奉の朗読・音訳を見直す会



早いもので、PHPの二次校正を始めてから一年になろうとしています。

当初、月末の編集日に間に合うのかと心配しましたが、皆様のご協力のお蔭でクリア出来ました。そして、二次校正をしてからのPHPは明らかに上質のものとなりました。

さて、3回にわたる朗読勉強会はお役に立ちましたでしょうか？

これも当初は、見直す会のメンバーだけが参加するのではと危惧していましたが、毎回40～50数名の参加者がありその盛況ぶりに驚いた次第です。

これらのことから、いかに声の図書の皆さんが、より良い録音を目指して日々研鑽しておられるのかということが、良く分かりました。

その静かなる熱意に応えるべく私たちは、朗読勉強会の第2弾を準備しています。

また、この会の最終目標であるガイドラインにつきましても、11月の例会から着手し、決定事項は運営委員会や「みなと」を通じて順次お知らせします。

そして気の早い話ですが、先生方に検討して頂き無事完成した暁には皆さんと一堂に会して、ご説明させて頂けたらと考えています。

見直す会の例会は、毎月の第3水曜日午後1時30分から始まります。ご意見やご要望などありましたら、ご遠慮なくお申し出ください。最後になりましたが、朗読勉強会（阿部講師）の全授業の録音をしていますので、貸出し可能です。

(青年グループ) 志智 公子





日赤声奉 朗読・音訳を見直す会だより 第1号

2011・11・16



日赤声奉の朗読・音訳を見直す会では、朗読、音訳に必要と思われることを、これから、発信していきたいと思えます。

第1回 調査

なぜ、調査が必要なのか・・・

日常の黙読を主とする読書では、知らない漢字もさほど問題にはなりません。しかし、音声化となると、声に出して音にしないことには相手に伝わらず、全く意味を持たなくなってしまいます。そこで漢字を一つ一つきちんと辞書で調べるという作業が生まれます。これは著作権法からも欠かすことができません。推量では読まない。

音訳において必要なことは、ヨミを知ることです。目的に合った辞書を選択することは、効率的に調べることにつながります。習うより慣れろの言葉どおり、辞書を引くのに慣れましょう。また、日本盲人社会福祉施設協議会では、「作家や出版社への問い合わせは原則として控える」ことを申し合わせています。安易に問い合わせないようにしましょう。どう調べても判明しない場合に限り、「推量読みをしています」とことわります。

参考になる資料

*インターネット上の便利なサイト

「音訳の部屋」(ボランティアルームの西側のPCにショートカットを張り付けています。ダブルクリックで開きますので参考にしてください。)

「国立国会図書館」(書誌の検索ができます)

「郵次郎」(地名の読み方が検索できます)

「人名録」

*辞書

広辞苑・大辞林・漢和辞典・日本国語大辞典(13巻小学館)

日本人名大辞典・地名よみかた辞典等



神坂 順子

リスナーお便り



松本 民雄さんより

花時計 7月号へのお便り

いつも楽しく聞かせていただいております。

今回は色々な国々の民族楽器の数々を聞かせていただき、音の世界旅行をしたような気分になりました。これを機会に民族音楽にも、より一層興味を持って親しめると思っています。

松本 民雄さんより

花時計 8月号へのお便り

ライン河の船旅を楽しまれたそうですね？

ライン河の船旅にはガイドさんは付いておられないのでしょうか？

ライン河の船旅では音楽の生演奏は有ったのですか？教えてください。

鈴木 美智子さんより

花時計 9月号へのお便り

色々お話を聞かせていただき、特に盲導犬とともに歩くと言うお話とても悲しかったです。

せっかく歩けるようになったのに、犬はお断りという店があったり、本当になった人でないと盲人の苦しさ、悲しさは解らないものです。

大人しいと思って犬にたばこの火を押し付けたりする人もいるなんて、人間として最低です。

香山 良樹さんより

楽しい話題、為になるお話ありがとうございます。

毎日蒸し暑い日が続いています。

昼も夜も暑いので、体力消耗につながります。

日赤の皆様健康守られますように。(8月24日)

松本 民雄さんより

いつも楽しい情報をお聞かせいただきありがとうございます。

「くぐ鳴り浜」と「くく鳴り浜」が、鳴き砂の海岸であると言うことは、テープ図書で聞きました。皆さんは、網野町にも鳴き砂の海岸があるのをご存知ですか？

京丹后市網野町掛津「かけづ」の琴引き浜がそれです。網野町の鳴き砂を守る会の皆さんが中心になって守っていい音で鳴いてくれています。

(琴引き浜鳴き砂文化館のご案内も頂きました)

山本 美千子さんより

星野富弘著「愛深き淵より」を聴いて

星野富弘さんのお話を泣きながら聴かせていただきました。ありがとうございました。

お互い信じあって真心から尽くすことの大切さを思います。私も弱視から見えなくなりましたが、心からしているか、口先だけかがよく分かります。心をこめて録音して下さい皆様にも感謝申し上げます。

山田 幸代さんより

いつもテープありがとうございます。

飛行機が苦手に乗ったことがないので、海外の様子をテープで楽しませてもらっています。

途中で失明したため、点字はできませんがテープが届くのを楽しみにしています。

交流会出席することが出来なくて申し訳ありません。

鈴木 美智子さんより

花時計 10月号へのお便り

今月号は特にB面のエッセイ「燈ともせよ」を、私と一緒にだなど思いながら聞きました。

家族が居ないのに電気をつけるのはもったいないと、娘や孫たちが出掛ける時は消して出て行ってと言います。

ご近所の方が、有る時「いつも暗いけどなにかあったんじゃないか？」と心配して訪ねて下さいました。

散歩日和になり今日一時間歩きました。

筋肉が衰えない様に散歩できない日は部屋で体操をします。

50年は正眼者で、失明して18年、両方の気持ちがわかります。いつもテープ記事に共感したり、勉強になりました。



牧野 よりえさんより

花時計 11月号へのお便り

花時計とてもよかったです。

全て満足しました。

デュエット オカリナのすみさんの

連絡先を教えてくださいませんか？

私も、オカリナとリコーダーをやっているの
で是非

(ことばの花束が連絡)

鈴木 美智子さんより

旅 秋号へのお便り

旅秋号では、ロシアでしたっけ、今聞いたのにあいまいで・・・娘さんのお産でお母さんが行かれて・・・

本当に穏やかで過ごしやすい所ではないかと聞いていました。サンタさんの煙突や、色々な屋根、昔、見えている時、絵本で見た三角の赤や白の屋根など考えて想像の世界です。失明してから18年たち、今は殆ど目の前は真っ暗で何も浮かんできませんが、頭の中で色々想像が浮かんできます。自分も一緒に旅をしている気がしました。

最初のコオロギ、虫の声など虫によって鳴き方が違いますね。散歩していますと、秋らしさを感じるのは虫の声と、風の冷たさ、さわやかになってきました。

冬号楽しみにお待ちしております。豊かな想像の世界にさせていただいて嬉しく思います

松本 民雄さんより

旅 秋号へのお便り

いつも楽しい情報聞かせていただきましてありがとうございます。

今回、ブータンについて、いろいろ紹介して頂き、又、その中でブータンの音楽もBGMで聞かせていただきました。

私が、イメージしたブータンの音楽とは違い驚いています。

以前、故小泉文夫氏がブータンの音階は沖縄音階に似ていると言っておられるのを聞きました。今回のテープで流れているBGMは中国の音階に似ていると思って聞きました。

他にブータンでは、何か珍しい音楽は聞かれたのでしょうか？

お聞かせいただけないのでしょうか？

松本 民雄さんより

交流会お誘いいただきましたが、今後お誘いの連絡はお断りします。交流会の様子はテープでお知らせいただけるのでしょうか・教えてください。

(遠方なのと体調管理などでお出ましくいようです)

日下 かず子さんより

いつも楽しみにしています。

今回アルバムをお送りいただきましたがプレクストークが故障して聞くことができません。

次回より録音図書がありましたらテープでお願います。今後ともよろしくお願います。

(*各担当へ連絡済みです)

花時計プログラム



花時計 7月号 「YWCA」

A面

①楽器の世界へ小旅行

大阪音楽大学博物館 パートⅡ

B面

②姫路城天守閣保存修理見学

③生田神社

④近頃の缶詰め事情色々

⑤デイズー図書案内

⑥イギリス旅行

⑦リスナーお便り

花時計 10月号 「ともしび」

A面

①インタビュー声楽家 安楽みゆきさん

B面

②エッセイ「燈ともせと」塩谷靖子

③レポート「大阪駅ガイドツアー」に参加して

④エッセイ「バターシュガーコーン」児玉 清

⑤単行図書案内

⑥お便り紹介 お知らせ

花時計 8月号 「こすもす」

A面

①三浦哲郎著「ふなうた」朗読

②暮らしの手帳 すてきなあなたにより

B面

③「ライン河とモーゼル河の船旅」

④エッセイ「象鼻杯・象鼻杯その後」

⑤野の花だより 365 日より「むくげ」

⑥単行図書案内

⑦お知らせとお便りコーナー

花時計 11月号 「ことばの花束」

A面

①デュエット「オカリナの魅力」

②詩の朗読 水内 喜久雄 編

続 一編の詩があなたを強く抱きしめる時がある

B面

③イギリス湖水地方とピーターラビットの世界

湖水地方の旅と作者紹介

「子ねこのトム」朗読

④お便り紹介

⑤単行図書紹介

花時計 9月号 「あかりの会」

A面

①健康講座「放射線入門」日赤ドクター

②NHKアート展の中から

③リスナーお便り

④新刊お知らせ

B面

⑤郡司ななえ作

「見えなくても私 盲導犬とともに歩んで」

⑥お知らせ

花時計 12月号 「はあもにい」

A面

①ワクワクドキドキ「どんな人に会えるかな」

オーボエ奏者 渡辺克也さんインタビュー

B面

②「アテネからイスタンブール、バスに揺られて

3300Kmの旅」

③「お伊勢参りあれこれ」

④単行図書・新刊貸し出しのご案内

⑤リスナーのお便りとお知らせ